

ゴミ減量に向け レジ袋

が有料になります

平成25年4月1日から、県内の多くのスーパーマーケット等で、レジ袋の無料配布が一斉に中止されます。

これまで、県では市町や関係団体等とともにレジ袋を削減するためにマイバツクの持参運動を推進してきましたが、さらなる取り組みを進めるために、事業者、県民団体、行政の3者で協定を締結して、レジ袋の無料配布を県内一斉に中止することにしました。

レジ袋の削減はごみの減量だけでなく、省資源や地球温暖化の防止につながります。買い物にマイバツクを持参する行動をきっかけとして、地球にやさしいライフスタイルを考えてみましょう。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

レジ袋の削減によって

ごみの減量

マイバツク等を持参し、不要なレジ袋を断わることで、むだに捨てられているごみの量を減らすことができます。

国内では年に約300億枚（一人あたり300枚）のレジ袋と約28億枚の紙袋が捨てられています。

省資源

レジ袋を減らすことで、貴重な資源を大事に使うことができます。

レジ袋10枚つくるのに200ccの石油が必要です。

平成25年4月
滋賀県は
もったいないの心を
大切にする
ライフスタイルに



参加協力される事業所は

イオンテール株式会社
ユニー株式会社（ピアゴ）
イズミヤ株式会社
株式会社豆伝ショップ
株式会社グルメシティ近畿ヒカリ屋瀬田店
株式会社ツシヤ
滋賀県生活協同組合連合会（コープ）
株式会社ハートフレンド
スター株式会社
株式会社パロー
株式会社パリヤ
株式会社ユース
株式会社フタバヤ
イオンビッグ株式会社
株式会社平和堂（平和堂、フレンドマート、アル・プラザ、ピバシティ）
株式会社光洋
株式会社ベイシア
株式会社大光アミカ事業本部（アミカ）
株式会社マツヤスーパー
有限会社八百清商店
マックスパリュ中部株式会社
株式会社阪食
株式会社丸善
株式会社魚忠

南比都佐小学校が 環境美化教育優良校に 選ばれました

このたび「公益社団法人食品容器環境美化協会」主催の全国第13回環境美化教育優良校に南比都佐小学校（富長宗生校長）が選ばれました。南比都佐小学校は、平成6年から毎年1年に3回学校周辺や通学路を縦割り班（全校児童を6つのグループに分けた異年齢集団）によって上級生が下級生を指導しながら、ごみを拾う活動「クリーン作戦」を続けてこられるなどの実績が今回の受賞につながりました。



▲賞状を手にする富長校長

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当
☎ ② 6578 有線 ⑤ 7784